富山大学附属病院

第98回 地域医療連携セミナー



高齢心不全に対する多職種連携

病院から地域へ。多職種で支える高齢心不全診療。

日時 令和9年1月14日（木） 19:00～20:00

会場 富山大学附属病院
総合臨床教育センター 2階 多目的研修室

Zoomによるハイブリッド開催

担当科 循環器センター

1. 高齢循環器疾患患者への心臓リハビリテーションの実践

～地域連携におけるリハの視点～



富山大学附属病院　リハビリテーション部
理学療法士　**森田 慎也**

2. 高齢心不全に対する多職種介入の取り組み

～心不全地域連携構築にむけて～

富山大学附属病院　第二内科
助教　**小野田 寛**

【ご希望の参加形式を選択の上、事前申し込みをお願いいたします】

会場参加を希望
富山大学附属病院
総合臨床教育センター 2階
多目的研修室

Web参加を希望
Zoomによるハイブリッド開催

日本医師会生涯教育制度

● 本セミナーにご参加、ご視聴いただいた先生方は、日本医師会生涯教育制度についての単位取得ができます。

カリキュラムコード　10（チーム医療） 1.0単位

【お問い合わせ先】
富山大学附属病院 医療福祉サポートセンター
☎ 076-415-8816
✉ renkei@med.u-toyama.ac.jp

富山大学附属病院

第98回 地域医療連携セミナー



担 当 循環器センター

テーマ 「高齢心不全に対する多職種連携」

開催日時 令和９年 1 月 14 日（木） 19:00～20:00

会 場 富山大学附属病院　総合臨床教育センター２階　多目的研修室

1. 高齢循環器疾患患者への心臓リハビリテーションの実践

～地域連携におけるリハの視点～



富山大学附属病院　リハビリテーション部
理学療法士　森田 慎也

高齢心不全患者では、多疾患併存や高度フレイルを伴う例が増えている。従来の心肺運動負荷試験に基づく心臓リハビリテーション（心リハ）は重要である一方、整形外科疾患や生活機能低下を併存する患者では、歩行能力やADLを重視した個別的対応が求められる。高齢心不全患者への心リハについて、多職種連携も含め留意している点を中心にお話しする。

2. 高齢心不全に対する多職種介入の取り組み

～心不全地域連携構築にむけて～



富山大学附属病院　第二内科
助教　小野田 寛

第二内科では、多職種連携による心不全介入を行い、計画的な患者教育と生活指導を実践している。心不全再入院予防を目的に「ハートノート」を活用してセルフケア獲得・継続支援を行っている。かかりつけ医の先生方と連携し、セルフケアの継続支援、増悪の早期発見、質の高い継続的な外来管理を実現する病診連携構築に向けた取り組みを報告する。

お問い合わせ先　富山大学附属病院　医療福祉サポートセンター
076-415-8816　renkei@med.u-toyama.ac.jp